

舞踊における動きのリズムについて

— 主として音楽のリズムとの比較 —

西 谷 伶 子

I 目 的

舞踊は、身体を素材として表出される美の形成である。つまり、人間の内的真実を、身体の動きによって客観化させる芸術である。この創作活動において、時間要因、空間要因、運動要因、形成要因等、諸要因は、それぞれ個有な働きが生かされながらそのむすびつきは、有機的関連における相互作用により美的に統一されながら進められる。そして、それら要因が一体となった動きが印象づけられるよう視覚化されねばならない。故に、各要因の独自の不変的特性、あるいはその体系などが科学的に明確化され、それらをよりどころとした学習指導を進めねばならないことは当然と言えよう。しかし、舞踊においてそれらの科学的な裏付けは明確にうち出されていないのが現状である。そこで本研究は、これら要因のうち、時間要因をとり上げ、舞踊におけるリズム体系確立を目標として進めるものである。主として大筋活動による運動時間の長短や、力の配分などの関連からなる舞踊のリズム体系は、音楽におけるリズム体系と異なると思われる。これらの関係を身体運動との関連により比較考察を行ない、舞踊の学習指導の指針とするべく動きのリズム体系化に接近しようとするものである。

II 方 法

動きのリズムと、音楽のリズムを比較するために、幼稚園、小学校、中学校における音楽教科書中のリズムパターンを分析し、これらを、動きの立場からのリズム分類に基づいて分類を

第1表 リズム分類

イ	♪	
ロ	♪より長い	
ハ	♪より短い	a 規則的分割のもの
		b ♪ を含むもの
		c シンコペーションを含むもの
		d ♪ とシンコペーションを含むもの
ニ	♪と♪より長い	
ホ	♪と♪より短い	a 規則的分割のもの
		b ♪ を含むもの
		c シンコペーションを含むもの
		d ♪ とシンコペーションを含むもの
ヘ	♪より長い ♪より短い いと	a 規則的分割のもの
		b ♪ を含むもの
		c シンコペーションを含むもの
		d ♪ とシンコペーションを含むもの
ト	♪と♪より短い ♪より長い いと	a 規則的分割のもの
		b ♪ を含むもの
		c シンコペーションを含むもの
		d ♪ とシンコペーションを含むもの

※ 動きのリズムを多く収集し考察することを目的とし、3才、4才、5才、小学校2年、5年、中学校2年、高等学校2年、大学生、について、刺激によるリズム反応テストを行ない、第19回、第20回、21回、日本体育学会、および本研究紀要第13号、14号、で報告した。その考察結果をもとにして、動きのリズム分類を試み、第22回日本体育学会において報告した。すなわち、歩くりズム ♪ を基本とし、タイミングによる分類を行ない、さらにこれをアクセントの種類によって分類したものである。

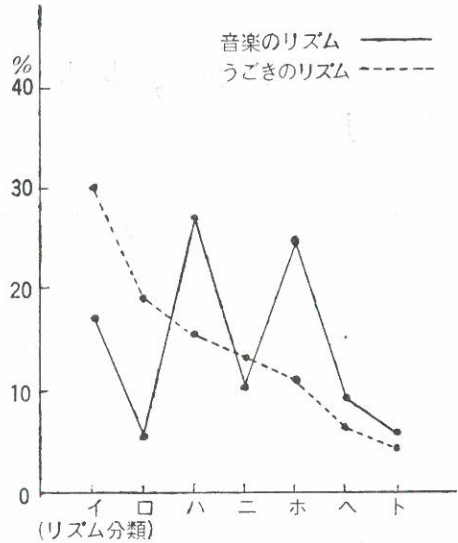
(第1表参照)

Ⅲ 結果と考察

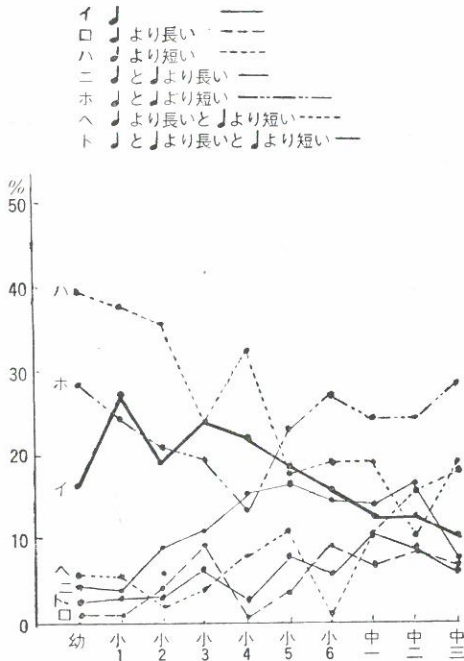
1. 音楽のリズムと動きのリズムの比較

音楽のリズムを分析し、動きのリズム分類に従って分類した結果、パターンの種類数、頻数、および頻数のパーセンテージを第2表に示し、動きのリズムについては第3表に示す。頻数について両者を比較考察すると、(第1図参照)動きのリズム(以下動きと呼ぶ)では、イがもっとも多く全体の30%を占め、次はロ、ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、の順であるのに対し、音楽のリズム(以下音楽と呼ぶ)では、ハ、ホ、のリズムが多く、次は、イ、ニ、ヘ、ロ、ト、となっている。以下分類別に考察を進める。

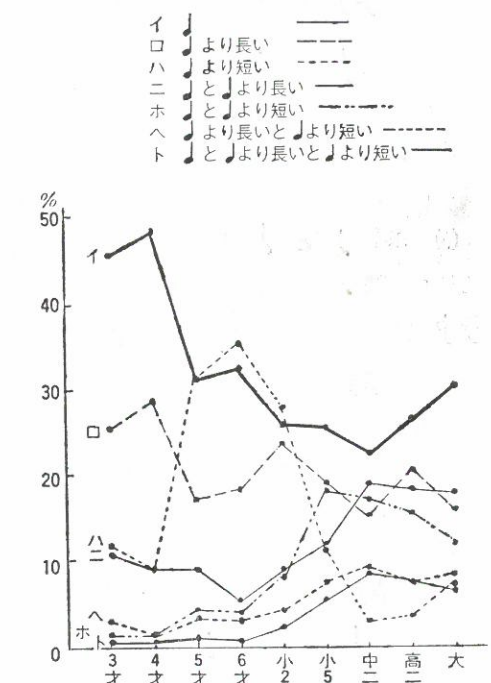
第1図 リズム分類別プロフィール



第2図 音楽のリズンプロフィール




第3図 動きのリズンプロフィール





(1) イ


動きの方が種類数、頻数とも多く、とくに動きでは、種類数に比して頻数が多く、分類中もっとも高いパーセンテージを示す。なかでも、3、4才にもっとも高く、約半数近い値を


示す。動きにのみ見られる特徴として、 が頭にあるものが多い。例、


(2)  より長い


音楽には大変少なく、動きでは、どの年齢にも比較的安定した形で見られるリズムである。動きには、,  など長いものが見られる。

(3)  より短い

a 規則的分割については、音楽には種類、頻数ともに大変多く見られるが、動きには種類が少なく限られており、 が多い。そして、3才、4才では少なく、5才、6才、小学2年をピークに、小学5年、中学、高校と減少している。一応配列されて整理されるリズムのようである。

b  を含む、については、全体的に音楽、動きとも同程度見られる。しかし、動きにおいては、幼児から次第に増加し、小学2年、5年をピークに中学、高校、大学と年齢が進むにしたがって減少する。これらは跳ぶリズムであり、小学5年において出つくし、年齢とともに過剰な動きが整理されることの意味のようである。


c シンコペーションを含む、については、音楽、動きとも少ないが、動きの方にわずが多く、 のリズムが6才で多く見られ、小学5年にもわずか見られる。


d  とシンコペーションを含む、については、音楽、動きとも0に近い。


(4)  と  より長い

音楽に比して動きの方が種類が多く、そのほとんどが音楽にないリズムである。そして、中学、高校、大学に多く見られる。このリズムは、動き独得のものであろうか。音楽との差は、休符の位置によるちがいが、すなわち、動きには、頭に休符のあるものが多い。

(5)  と  より短い


a 規則的分割、については、音楽の方が動きに比して種類、頻数ともはるかに多く、 以下の速いリズムでの組み合わせが多い。動きには休符が頭にあるものが多い。

b  を含む、については、音楽に比して動きの方に種類が多く見られ、休符の入ったものが多い。

c シンコペーションを含む、については、殆んどのリズムが、音楽と動きと異なる。つまり、両者が異なった形であり、その比較においての特徴と思われ、動きには  によるシンコペーションが多く見られる。

d  とシンコペーションを含む、では、音楽、動き、どちらも大変頻数が少ない。


(6)  より長いと  より短い




a 規則的分割、については、音楽の方が、動きに比して頻数が多い。動きでは、 以下のリズムは、フォロー、あるいはランニング等動きが限られるため少ない。そして、幼児に少なく、小学5年、中学、高校、大学、と安定した分布で見られる。

b  を含む、については、音楽の方に多く見られ、殆んどのリズムが音楽、動きに


において異なった形である。

c シンコペーションを含む、については、音楽にはわずかしか見られず、動きに多く見られ、リズムの殆んどが両者異なった形である。動きには、その特徴として、7 によるシンコペーションが多い。


d  とシンコペーションを含む、については、音楽、動きともわずかしか見られない。










(7) ト  と  より長いと  より短い

a 規則的分割については、音楽に比して動きの方が、種類、頻数ともわずか多く、小学5年、中学、高校、大学において同程度の分布が見られる。

b  を含む、については、音楽、動きともわずかしか見られない。

c シンコペーションを含む、については、音楽に比して動きの方が種類、頻数ともに多く見られ、そのほとんどが、異なった形のリズムである。

d  とシンコペーションを含む、については、音楽、動き、ともわずかしか見られない。

以上、音楽のリズムと、動きのリズムを比較すると、どのリズムもその形が異なったものが多いが、とくに、ニ、ホ、ヘ、ト、については、動きのリズムにおいて年令の進んだ段階に定着して見られることから、これらがその特性のように思われる。また、シンコペーションのうち、7 の入ったものや、 がリズムの頭にあるものは、音楽と動きの比較においての特徴と思われた。動きのリズムにおいて、休符がリズムの頭にあるものうち、 のあとに  のあるもの(例 )が大変多く、 のあとに  (例 )または、 以上のもの(例 )よりはるかに多いのも特徴としてとどめたいことである。

2. 動きの考察

動きが、リズムによって支えられ、リズムは動きを創ることによって生まれる、という考えから、テスト結果の分析により得られた動きを集計考察する。その種類数を第4表に示す。

第4表 動きの種類数

年 令	3才	4才	5才	6才	小2	小5	中2	高2	大
動きの種類数	26	18	81	97	206	245	399	380	435


動きの種類数は、幼児から年令が進むに従って次第に増加し、とくに、6才～小学2年、小学5年～中学2年の間においていちぢるしくそれが見られる。これらの動きについて年令別に考察を進める。

(1) 3, 4才では、ウォークがもっとも多く、次が両足とび、しゃがんで両足とび、スキップ、と限られた動きで、しかも単独な動きとして見られた。

(2) 5, 6才では、ランニング、スキップなどができるようになり、すでにリズムカルな動きとして定着しているウォーク、両足とびなどについては、横、後、などの方向性による変化が見られる。また、動きの組み合わせができるようになる。(例、ウォークと両足とび)

(3) 小学2年では、動きの種類が急に増加し、とくにスキップが目立ち、各年令全体の50%を占め、もっとも多い。ホップ、腕波動、脚や胴体の動き、ポーズ、などが見られるように

なり、組み合わせの動きも増加している。

(4) 小学5年では、種類数においては小学2年と大差ないが、しかし、小学2年で多く見られたスキップは急に減り、腕、脚、胴体、などの動きが増加し、組み合わせの動きが大変多く見られる。このことは、 のリズムの考察との一致が見られ、発達の様相の裏づけ、すなわち、脱皮の姿と言える。

(5) 中学2年では、さらに大幅に種類数が増加する。幼児～大学までの間でもっともいちぢるしい増加率である。幼児～小学2年までに見られた動きは整理され、身体の動きが急に増加し、ほとんどの動きが組み合わせの形で見られる。

(6) 高校2年では、中学2年より種類数はわずか減るが、さらに多くの高度な動きが増えている。(例、脚の後挙、腰のひねり、胸後屈、体側屈、捻転、側倒など)

(7) 大学では、各年令通してもっとも種類数が多く、動きは、さらに高度になり、動きでのアクセント、緊張、解緊、等運動の交代性が見られる。

以上、幼児から大学生の動きについて、その発達の様相をまとめると、幼児においては、限られた動きで、しかも単純なものであり、年齢が進むに従ってその動きも残しながら、複合された形の中で次第に脱皮し、複雑な動き、巧緻的な動きに分化し構造されて行く過程が見られた。そして、それは、段階的に飛躍しながら発達するようである。すなわちそのグループは、3, 4才、5, 6才、小学2年、5年、中学、高校、大学、のようであった。



3. 複合の様相

動きのリズムについて、身体各部の複合のされ方、そして、付随して生まれるそれらのリズムの複合のされ方について考察する。

(1) 3, 4才では脚の動きがもっとも多く、単独な動きのみである。

(2) 5, 6才では、わずかではあるが、複合された形の動きが見られるが、脚と腕の動きによるもので、そのリズムは、主リズムに対し、ほとんど拍子のリズムで、規則的分割のものである。

(3) 小学2年では、1パターン内で、身体部分を交互に使ったリズムが目立つ。(例、はじめは脚の動き、とまって腕の動きなど)

(4) 小学5年では、簡単な複合のものであるが、頻数が増える。複合される身体の部位は、脚と腕がそのほとんどで、リズムは、 と  での複合である。




(5) 中学2年では、複合された形のものが急に増加し、身体の部位も、腕、脚に加えて、胴体が増え、複雑なものとなり、リズムも、複合によるシンコペーションなどが見られる。

(6) 高校2年では、身体の動きでの複合によるシンコペーションのリズムが見られ、このことが、動きを一層複雑、高度にさせているようである。

(7) 大学では、胴体、首などの動きによる複合でのシンコペーションのリズムなどが増え、身体の部位の複合の工夫が見られる。

これらのことから、複合のされ方は、単純なものから複雑なものへの発達が見られ、その過程において、動き、リズムともに要素の配列からそれらが結合統合されながら統一へと進む変容の様相を見ることができる。

Ⅵ ま と め

以上のことから、音楽のリズムと、動きのリズムの差異については、音楽においては、ハ  より短いリズム、ホ  と  より短いリズム、すなわち、速いリズムが比較的多く、主とし

て小筋活動である特性からうなづけることである。動きのリズムでは、全体的にイ ♪ がもっとも多く、しかも幼児においてはほとんどこのリズムのみで動いていることから、「舞踊は歩くことにはじまり、歩くことに終る」と言われていることの裏付けと言える。また、幼児においては、生理的なリズムで、しかも、単純な要素の配列により、限られた動きのみであるが、年齢が進むに従い、単純な要素を残しつつ脱皮しながら結合、統合され、複雑な動きに分化し、情意的に構造化されて行くようである。これは、幼児においては大変少なく、次第に増加し、高校、大学において定着している、＝ ♪ と ♪ より長い、ホ、 ♪ と ♪ より短い、へ ♪ より長いと ♪ より短い、ト、 ♪ と ♪ より長いと ♪ より短い、などのリズムでの成長曲線により示されている。そして、これらのリズムは、音楽のリズムと異なった形のものがほとんどであることから、動き独得のリズムと言えようである。さらに、音楽のリズムと動きのリズムとの差が見られた休符の位置、あるいはシンコペーションのリズムの形、等は特記すべきことである。これは、運動の特性である準備相から主位相に移る動きの流れのあらわれと思われる。これらのことから、幼児においては、イのリズムで主として音楽のリズムから指導を進め、ロ、ハ、ニ、ホ、へ、ト、のリズムでリズムカルな跳躍の動きへと進め、年齢が進むに従い、動き独得のリズムへ発展させ、身体各部の動きによる複合へと動きの広がりを持たせながら指導を進めることの大切さを感じ、ダンスの指導について一手がかりを得た。さらに、動きのリズム、とくにシンコペーションのリズムについての追求を進め、動きのリズム体系化に接近したいと思う。

参 考 文 献

- | | |
|-------------------|----------------|
| 舞踊美の探究 | 松本 千代栄 著 |
| 芸術とは何か | S. K. Langer 著 |
| こどものうた(資料) | 岡山県立短期大学保育科 |
| 一ねんせいのおんがく | 教育芸術社 |
| 二ねんせいのおんがく | 教育芸術社 |
| 三ねんせいのおんがく | 教育芸術社 |
| 四ねんせいのおんがく | 教育芸術社 |
| 五ねんせいのおんがく | 教育芸術社 |
| 六ねんせいのおんがく | 教育芸術社 |
| 中学生の音楽 I | 音楽の友社 |
| 中学生の音楽 II | 音楽の友社 |
| 中学生の音楽 III | 音楽の友社 |
| 岡山県立短期大学研究紀要 第13号 | |
| 岡山県立短期大学研究紀要 第14号 | |
| 体育学研究 第13巻第5号 | 日本体育学会 |
| 体育学研究 第14巻第5号 | 日本体育学会 |
| 体育学研究 第15巻第5号 | 日本体育学会 |
| 日本体育学会 第22回大会号 | 日本体育学会 |

第2表 うごきのリズム分類と結果

分類	年齢		3才		4才		5才		6才		小2		小5		中2		高二		大		計										
	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%							
イ	3	454	45.58	4	669	48.83	9	556	31.74	9	811	32.60	12	761	25.95	11	815	25.12	12	867	22.83	10	868	26.64	11	556	30.72	14	6457	30.00	
ロ	5	254	25.50	7	395	28.83	6	361	17.46	6	458	18.41	9	617	26.04	9	626	19.30	8	511	15.22	8	672	20.63	14	291	16.08	14	4185	19.44	
ハ	a	1	14	1.41	1	34	2.48	3	362	17.51	4	269	10.81	2	210	7.16	9	137	4.22	3	38	1.13	4	81	2.49	6	113	6.24	14	1258	5.84
	b	2	108	10.84	2	93	6.79	3	287	13.88	4	585	23.51	15	592	20.18	3	214	6.60	4	49	1.46	2	14	0.43	4	22	1.22	19	1964	9.13
	c	0	0	0	0	0	0	1	3	0.15	1	22	0.88	3	11	0.38	1	14	0.43	0	0	0	1	1	0.03	1	1	0.06	4	2	0.24
	d	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.10
計		3	122	12.25	3	127	9.27	7	652	31.54	9	876	35.21	20	813	27.72	14	367	11.31	7	87	2.59	7	96	2.95	11	136	7.51	38	3276	15.23
ニ	11	114	11.45	12	127	9.27	17	193	9.84	17	132	5.31	20	280	9.55	20	401	12.36	24	647	19.27	23	613	18.82	33	327	18.07	44	2834	13.17	
ホ	a	0	0	0	6	10	0.73	16	49	2.37	20	53	2.13	29	92	3.14	41	272	8.38	41	428	12.75	41	456	14.00	45	182	10.06	89	1542	7.16
	b	2	16	1.61	3	9	0.66	13	30	1.45	15	41	1.65	31	135	4.60	34	291	8.97	37	165	4.92	14	36	1.10	8	11	0.61	59	734	3.41
	c	0	0	0	1	4	0.29	4	23	1.11	4	10	0.40	10	0	0.34	16	27	0.83	7	9	0.27	10	19	0.58	13	26	1.44	44	128	0.59
	d	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0.12	3	5	0.17	1	1	0.03	2	2	0.06	0	0	0	1	1	0.06	6	12	0.06
計		2	16	1.61	10	23	1.68	33	102	4.83	41	107	4.30	73	242	8.25	92	591	18.22	87	604	17.99	65	511	15.68	67	220	12.15	198	2416	11.23
ヘ	a	4	10	1.00	3	15	1.09	6	42	2.03	4	31	1.25	10	51	1.74	14	152	4.69	18	177	5.27	18	170	5.22	20	112	6.19	39	760	3.53
	b	0	0	0	0	0	0	3	7	0.34	4	5	0.20	6	12	0.41	8	11	0.34	10	60	1.79	3	7	0.21	6	12	0.66	15	44	0.20
	c	2	22	2.21	3	8	0.58	8	27	1.31	7	46	1.85	15	79	2.69	15	89	2.74	14	93	2.77	12	68	2.09	15	25	1.38	34	457	2.12
	d	0	0	0	0	0	0	1	3	0.15	0	0	0	1	1	0.03	2	5	0.15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	0.04
計		6	32	3.21	6	23	1.68	18	79	3.82	15	82	3.30	32	143	4.88	39	257	7.92	42	330	9.83	42	330	9.83	33	245	7.52	41	149	8.23
ト	a	0	0	0	3	6	0.44	8	19	0.92	5	14	0.56	15	47	1.60	19	151	4.65	31	253	7.54	26	232	7.12	30	110	6.08	51	832	3.87
	b	0	0	0	0	0	0	2	4	0.19	2	4	0.16	6	10	0.34	4	10	0.31	7	28	0.83	3	6	0.18	2	3	0.17	12	65	0.30
	c	1	4	0.40	0	0	0	1	1	0.05	3	4	0.16	8	18	0.61	8	24	0.74	15	29	0.86	7	15	0.46	13	18	0.99	30	113	0.53
	d	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0.07	1	2	0.06	1	1	0.03	0	0	0	0	0	0	4	5	0.02
計		1	4	0.40	3	0	0.44	11	24	1.16	10	22	0.88	31	77	2.63	32	187	5.76	54	311	9.26	36	253	7.77	45	131	7.24	97	1015	4.72
計		31	996	100	45	1370	100	101	2067	100	107	2488	100	197	2933	100	217	3244	100	234	3357	100	182	3258	100	22	1810	100	496	21523	100

第3表 音楽教科書におけるリズム分類と結果

分類	年齢		幼		小1		小2		小3		小4		小5		小6		中一		中二		中三		計												
	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%	K	F	%											
イ	8	372	17.06	4	102	27.80	3	86	19.91	5	148	24.34	4	115	22.03	6	112	16.62	4	109	13.13	8	123	13.71	4	84	10.86	10	1367	17.31					
ロ	3	43	1.97	1	7	1.91	2	20	4.62	2	57	9.38	2	2	0.38	2	64	9.50	2	62	7.47	2	75	8.36	2	56	7.24	3	409	5.18					
ハ	規則的分別		22	632	28.99	8	62	16.89	11	83	19.21	13	128	21.05	12	168	32.18	11	79	12.93	14	130	15.66	18	87	9.70	14	109	14.08	42	1600	20.27			
	よ	短	10	230	10.55	6	58	15.80	7	72	16.67	3	19	3.13	2	28	5.36	7	31	5.07	3	9	1.34	5	16	1.78	9	43	5.56	22	535	6.78			
	い	短	1	1	0.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	と	短	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計		33	863	39.59	14	120	32.70	18	155	35.88	16	147	24.18	14	196	37.55	18	110	18.00	16	131	19.44	22	161	19.40	23	103	11.48	23	152	19.64	66	2138	27.08	
ニ	よ		6	97	4.45	4	15	4.09	7	39	9.03	6	69	11.35	10	81	15.52	8	103	16.86	11	66	9.80	8	118	14.22	13	152	16.95	11	60	7.76	15	800	10.13
ホ	規則的分別		28	494	22.66	10	76	20.71	17	74	17.13	18	116	19.08	13	63	12.07	22	108	17.68	24	115	17.06	36	171	20.60	35	178	19.84	37	152	19.64	81	1547	19.59
	り	短	18	115	5.28	15	15	4.09	6	16	3.70	1	2	0.33	1	2	0.38	10	25	4.09	10	24	3.56	9	21	2.53	12	25	2.79	12	44	5.69	36	289	3.66
	い	短	3	21	0.96	0	0	0	2	3	0.69	2	2	0.33	1	7	1.34	3	9	1.47	7	43	6.38	6	9	1.08	8	14	1.56	10	22	2.84	23	130	1.65
	と	短	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		49	630	28.90	25	91	24.80	25	93	21.53	21	120	19.74	15	72	13.88	35	142	23.24	41	182	27.00	41	201	24.22	56	219	24.41	60	228	28.81	142	1973	24.99	
ヘ	規則的分別		13	115	5.28	6	19	5.18	5	26	6.02	6	25	4.11	8	41	7.85	14	48	7.86	13	51	7.57	8	81	9.76	21	133	14.83	19	121	15.63	39	660	8.36
	り	短	3	4	0.18	1	2	0.54	0	0	0	0	0	0	5	19	3.11	5	18	2.67	3	7	0.84	3	7	0.84	5	12	1.34	8	16	2.07	15	78	0.99
	い	短	2	6	0.28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.16	2	2	0.30	0	0	0	0	0	0	2	2	0.22	3	6	0.78	5	17	0.22
	と	短	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		18	125	5.73	7	21	5.72	5	26	6.02	6	25	4.11	8	41	7.85	20	68	11.13	22	77	14.2	11	88	10.60	28	147	16.39	31	145	18.73	62	763	9.66	
ト	規則的分別		10	46	2.11	4	10	2.72	4	13	3.01	5	42	6.91	3	15	2.87	8	36	5.89	7	26	3.86	12	83	10.00	12	62	6.91	15	52	6.72	25	385	4.88
	り	短	1	1	0.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	1.15	1	6	0.89	1	1	0.12	4	9	1.00	0	0	0	6	24	0.30
	い	短	1	2	0.09	1	1	0.27	0	0	0	0	0	0	2	6	0.98	3	10	1.48	3	10	1.48	3	7	0.84	4	7	0.78	1	2	0.26	6	35	0.44
	と	短	1	1	0.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		13	50	2.29	5	11	3.00	4	13	3.01	5	42	6.91	3	15	2.87	11	49	8.02	11	42	6.23	11	42	5.06	20	78	8.70	16	54	6.98	38	445	5.64	
計		130	2180	100	60	367	100	64	432	100	61	608	100	56	522	100	101	611	100	109	674	100	114	830	100	168	897	100	147	774	100	336	7895	100	